

豊橋文化

vol.31

隔月発行

2020.4.15

【発行所】(公財)豊橋文化振興財団(PLAT内)
【連絡先】豊橋市西小田原町123
TEL (0532) 39-5211 FAX (0532) 55-8192

新型コロナウイルスが猛威をふるっています。できる予防をし、感染しないように、そして気づかないうちに感染してしまつて誰かにうつさないように、細心の注意を払いましょう。

日に日に暖かさが増す中、春の日差しに包まれながらぜひこの豊橋文化を読んでみてくださいね。

新型コロナウイルス感染拡大にともない、掲載している催し物が中止や延期になる可能性がございます。あらかじめご了承ください。

写真100展 出品作品募集!

(公財)豊橋文化振興財団が主催する写真展です。広く一般の方からも作品を募集しています。申込書は文化会館にて配布いたします。とっておきの一枚をぜひ発表してみませんか?

展示会期 ● 令和2年6月2日[火] ~ 6月7日[日]
9時 ~ 17時(最終日は15時まで)

展示会場 ● 豊橋市民文化会館2階展示室

▶ 搬入日 / 令和2年5月15日(金) ~ 5月17日(日) 9時 ~ 17時
▶ 申込み / 申込書に記載の規定に沿って作品を仕上げ、申込書に記入の上、搬入日にお持ちください。

▶ 問合せ / 豊橋文化振興財団(☎0532-39-5211)、豊橋市民文化会館(☎0532-61-5111)



豊橋文化祭協賛行事募集

豊橋市および豊橋文化振興財団では、市民の皆様の芸術や文化の振興のため、市内文化施設で実施する文化事業を「協賛行事」として広く募集します。

対象 ● 東三河で結成された文化団体・企業が「対象期間」に市内で実施する文化事業で、収益を目的としな

対象期間 ● 令和2年9月26日[土] ~ 11月30日[月]
【文化祭開会式典開催日】

▶ 協賛特典 / ①本紙等に催事情報を掲載 ②実施団体発行の宣伝物に「豊橋文化祭協賛行事」と表示可 ③財団指定管理の文化施設(市民文化会館、公会堂、ライフポートとよはし、三の丸会館 ※PLATは除く)で実施の場合、期間中1団体1行事に限り利用料金を免除 ▶ 申込み / 6月15日までに申請書を(公財)豊橋文化振興財団(〒440-0887 豊橋市西小田原町123 PLAT内 ☎0532-39-5211 Fax0532-55-8192)まで提出 ▶ 申込書配布 / PLAT、豊橋市民文化会館 ほか

コーラスのつどい 参加団体募集!

(公財)豊橋文化振興財団が主催するコーラスの発表会です。毎年14、5団体ご参加いただいています。申込書は文化会館・PLATにて配布しております。

開催日 ● 11月11日[水]午後12時30分開演

開催場所 ● 豊橋市民文化会館ホール

▶ 申込み / 申込書にご記入の上、豊橋文化振興財団(PLAT 内 Tel: 0532-39-5211 Fax: 0532-55-8192)へご提出ください。 ※申込書は文化会館・PLATにて配布。

▶ 締切 / 5月31日(日) ▶ 対象 / 市内コーラスグループ

▶ その他 / 3回の代表者会議と、1週間前(11月4日)に1回リハーサルを行います。

今後の状況により開催の有無や日程など変更になる可能性がございます。



市民文化会館リハーサル室 音響設備が新しくなりました。

市民文化会館のリハーサル室では、この度、新しい音響卓とワイヤレスマイク(2本)を設置いたしました。概ね100名以内の発表会や講演会などについて、より便利にご利用いただけますので、新型コロナウイルス収束後はぜひ利用をご検討ください。



ペン書道展 出品作品募集!

(公財)豊橋文化振興財団主催 ペン書道展を開催します。ペン(ボールペン・万年筆など)で詩・俳句・文章などを表現していただくものです。普段使う筆記具ですが、ぜひ一つの作品に仕上げて出品してみませんか。申込書は市民文化会館にて配布しております。

展示会期 ● 令和2年6月23日[火] ~ 6月28日[日]
10時 ~ 16時(最終日は15時まで)

展示会場 ● 豊橋市民文化会館2階展示室

▶ 申込み / 申込書に記入し、申込書記載の通りに作品を仕上げて、搬入日に市民文化会館へお持ちください。

▶ 搬入日 / 令和2年6月12日(金) ~ 14日(日) 9時 ~ 17時

▶ 問合せ / 豊橋文化振興財団(☎39-5211)、豊橋市民文化会館(☎0532-61-5111)

伝統文化こども発表会参加団体募集

伝統文化こども発表会を開催します。舞踊、仕舞、三味線、箏曲など、ご指導されているお子様方の発表の場として参加してみませんか?

日時 ● 令和2年9月27日[日] 13時開始(予定)

場所 ● 豊橋市民文化会館ホール

▶ 参加費 / 団体会員は無料 ▶ 発表時間 / 1団体30分以内 ※希望参加団体数により調整いたします。 ▶ 対象 / 概ね高校生以下で構成される邦楽関係団体またはグループ ▶ その他 / 舞台には所作台を敷く予定 ▶ 応募方法 / 指定書式にてFAXまたは郵送にてお申込みください。(参加申込書はPLAT・文化会館にて配布)

今後の状況により開催の有無や日程など変更になる可能性がございます。



第50回記念長唄演奏会中止のお知らせ

5月10日(日)開催予定の第50回記念長唄演奏会は新型コロナウイルス感染拡大にともない開催中止となりました。大変申し訳ございませんが、何卒、ご理解のほどよく申し上げます。

穂の国2020特別演奏会 延期のお知らせ

5月31日(日)開催予定の「穂の国2020特別演奏会」は、新型コロナウイルス感染拡大にともない延期となりました。開催日時については検討中です。大変申し訳ございませんが、何卒、ご理解のほどよくお願い申し上げます。

春の市民大茶会・豊橋総合いけばな展(春)中止のお知らせ

4月5日(日)・26日(日)開催予定の春の市民大茶会、4月25日(土)・26日(日)開催予定の豊橋総合いけばな展(春)は新型コロナウイルス感染拡大にともない開催中止となりました。大変申し訳ございませんが、何卒、ご理解のほどよくお願い申し上げます。

今号の一枚

「春」 星野真吾

紙本着彩 1968年制作 41.0×60.2cm 名古屋画廊蔵



リレーエッセイ
ほんと豊橋

お好きなように。

ギャラリーサンセリテ 野尻眞理子

音楽は何がお好きですか?演歌、ジャズ、クラシック、ロック等、また歌手名など割合難く答える方が大半です。では美術はどうでしょう、この紙面をお読みになる方は、ご自身の好きな画家や作風をすぐ思い浮かべる方が多いとは思いますが、かなり多くの方が、「絵が下手でしたから、美術はわからないのです」などと仰る。楽器が弾けず、楽譜が読めなくても音楽は身近なのに、絵が下手な人は、絵を敬遠しがちです。私自身、小学生の頃から図画工作は酷い成績で、へたな絵しか描けませんでしたが見る事は大好きでした。図書館に通い画集や写真集を眺めていました。また、夏目漱石の坊ちゃんに出てくる、ターナーや、フランダースの犬のネロ少年が最期に見たルーベンスの絵に心惹かれ、また、アルセーヌ・ルパンが盗んでまで欲しい

と思う絵というものにあこがれ、いろいろ想像を巡らせました。尤も「絵が下手なのに、好きなの?」と言われ恥ずかしい思いもありました。当時の美術教育の評価は描くことが基準でした。

今、30年以上美術商を続けてきて思うのは、描く能力=見る能力ではないということです。極端なことを言えば、見る力というのは自身の好みが分かり、それを認識できる、という当たり前のような事だけです。絵の作者や技法の知識、またはその分析力は別のことです。自身の物差しで、「自分にとってこの絵は」ということが一番大切な気がします。値段や美術館やマスコミの評価は別枠のことです。

さりとて、初めて出合うタイプの作品を見たとき、もし違和感があってもその気持ちを決めつけにしないでください。こんな絵のどこがいいのだろう、ではなく、何かの魅力があるのだろう、という程度に流して下さい。そして頭の中に「よくわからないもの用の箱」を作ってその中に入れておいてください。次に出合うときには別の気持ちになるかもしれません。好みは変わっていくこともありますので、食わず嫌いでなく、いろいろご覧になってください。



「大名倒産」上・下

浅田次郎 著 文藝春秋 刊

公益財団法人豊橋文化振興財団副理事長

高須博久

江戸時代末期のことである。越後丹生山松平家は25万両の借財を抱えていた。年利は1割2分、利息だけで年間3万両、丹生山3万石の歳入はせいぜい1万両。到底返済することは不可能だ。

そこで12代当主が企てたのが「大名倒産」である。すでに御隠居の身であり、倒産後は訳ありの四男に腹を切らせればすべて片付くと考えていた、とんでもない父親である。

じつは、12代が村娘に手を付けて生ませた四男は9歳まで足軽の子・小四郎として育てられた。思いもよらず家督を継ぐことになった時は弱冠21歳であった。13代の若殿は「クソ」が付くほどの真面目な性格である。丹生山松平家の立て直しに正面から取り組むのである。

ここからが、仁・義・礼・智・信の五常を重んじる浅田次郎ワールドの始まりである。捨てる父あれば拾う神あり。初めてお国入りを果たした若殿たちの行いを見ていた神仏たちがいつの間にか入り込んできた。(もちろん人間の目には見えないのだが)貧乏神は自分の役割を曲げて、若殿を助けてやってくれと七福神に頼み込む。すると色っぽい弁天様が若殿にすり寄っていく。七福神は7人が揃って一人前の仕事ができるのだそうだ。乗り気でない神もいたが、最後には猿を使わせて黄

金石の洞を見付けさせる。神様の大サービスである。

一方、やはり若殿の窮状を見ていた国家老の鈴木家、佐藤家の女衆は、250年かけて貯めた2,500両ずつを献上した。若殿もビックリであった。もう一つ、若殿の養父が育てた丹生山特産の蘆川の鮭を江戸で売ったら大評判。若殿たちの努力が報われ、一気に花開く。

江戸参府の初日、金を借りている商人30余人を集めて「丹生山を倒しませぬ、25万両の半金は利息であるので切り捨てさせてもらうが、残り半金は現金で払う」と伝える。これで大名倒産はなくなった。最後には縁の薄かった父子も理解し合う。

浅田先生と会ったとき、短く、わかりやすく、おもしろく、美しい文章を書きたいとおっしゃっていた。「大名倒産」で「五常」を感じながら浅田ワールドを楽しませてもらった。



催し物スケジュール 5月～6月

※この予定表は予告なしに変更になる場合がありますので、事前にお確かめください。入場料は前売料金。



豊橋文化 2020年4月発行

市内文化団体主催および豊橋文化振興財団が
後援する催し物を中心に掲載しています。掲載
のご希望は、問合せまでご連絡ください。

5月

1日(金)	第10回「一枚のはがき」アートコンテスト…………… 10月31日まで募集 内容 ●「私のすきなたべもの」というテーマで絵を募集(63円はがき)。選考結果は12月に発表予定。 主催 ●特定非営利活動法人福祉住環境地域センター
15日(金)	第775回邦楽鑑賞会 時間 ●17時30分～ 場所 ●豊橋市民文化会館ホール 入場料 ●無料 内容 ●市内邦楽団体による披露
30日(土)	平原誠之ピアノコンサート 時間 ●13時30分～ 場所 ●穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース 入場料 ●4,000円 内容 ●平原誠之によるピアノ演奏
31日(日)	第32回奨会三曲研究会 時間 ●9時30分～ 場所 ●豊橋市民文化会館ホール 入場料 ●無料 内容 ●古典より現代曲まで43曲の発表

6月

2日(火)	第48回写真100展…………… 7日(日)まで 時間 ●9時～17時(最終日は15時まで) 場所 ●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料 ●無料 内容 ●市民・写真団体による公募の写真展 茶道宗偏吉田流和有茶会 時間 ●9時30分～15時 場所 ●臨濟寺 会費 ●500円 担当 ●西口宗伊
5日(金)	第776回邦楽鑑賞会 時間 ●17時30分～ 場所 ●豊橋市民文化会館ホール 入場料 ●無料 内容 ●市内邦楽団体による披露 第11回グループ「草」いけばな展…………… 7日(日)まで 時間 ●10時～ 場所 ●Gallery亜鳥絵 入場 ●無料 内容 ●草月流いけばな展
7日(日)	第18回みちの会プロムナードコンサート 時間 ●14時～ 場所 ●豊川市小坂井文化会館フロイデンホール 入場料 ●一般2,000円 小中高生500円 内容 ●ピアノ、声楽、ヴァイオリン、管楽器のソロ、2台ピアノなど10組によるクラシックコンサート 東陽ふれあい音楽会 「あの名曲をマリンバとお喋りで 梅雨空にひびくソウルフルなデュオのマリンバ」 時間 ●10時～ 場所 ●東陽地区市民館 参加費 ●500円 出演 ●Marimba Duo なつかよ(高波奈津、田村佳代子)
10日(水)	中桐万里子講演会 時間 ●14時～ 場所 ●豊橋市民文化会館 入場料 ●無料 内容 ●中桐万里子(二宮金次郎7代目子孫)による講演会
13日(土)	水曜短歌会 時間 ●13時30分～ 場所 ●豊橋市民文化会館2階第7会議室
17日(水)	第50回石木展…………… 21日(日)まで 時間 ●9時～17時 場所 ●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料 ●無料 内容 ●豊橋石木協会による自然石木の展示
19日(金)	第6回コーロ・フェリーチェ演奏会 時間 ●16時30分～ 場所 ●穂の国とよはし芸術劇場PLAT主ホール 入場料 ●1,500円 内容 ●Ⅰ部「四季のPOPS」Ⅱ部鈴木憲夫作品 女声合唱曲集「ほほえみ」より Ⅲ部「ジブリの世界」
20日(土)	日曜短歌会 時間 ●13時30分～ 場所 ●豊橋市民文化会館2階第7会議室
21日(日)	ペン書道展…………… 28日(日)まで 時間 ●9時～17時 場所 ●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料 ●無料 内容 ●市民・団体より公募のペン書道展
23日(火)	東陽ふれあい音楽会「いつもの二人 ～初夏を探しに…」 時間 ●10時～ 場所 ●東陽地区市民館 参加費 ●500円 出演 ●濱島秀行(ヴァイオリン) 夏目順子(ピアノ)
24日(水)	



art age gallery チャリティー作品展 「桜を愛でる会」

日時 ● 4月29日(水)～5月10日(日)
10時～18時(最終日は16時30分まで)

場所 ● art age gallery
画家たちが思いを込めて描いた「桜」を一同に展示します。



月と太陽の二重奏

大野俊治

4年程前に豊橋在住の日本画家・高畑郁子から印刷・出版を任された共和印刷株式会社の社長から『星野真吾・高畑郁子画集』の監修及び編集全般に携わって欲しいと再三にわたり打診されました。

二人とかかわりを持った身としては、荷は重いと感じつつ、覚悟を決めてその大役を引き受けることにしました。

週2日程度、印刷会社の2階の一室に籠り、集めた資料を分析しながら編集作業をすすめ、全国各地に散らばっている二人の作品調査にも取りかかりました。

<年譜>をはじめ、<主要文献>や<作家の言葉>を編集し、過去に執筆した二人の<作家論>を再編したり、旧知の美術ジャーナリストに執筆を新規に依頼したりしました。<作品解説>は私のほか、近隣の美術館(豊橋市美術館、豊川市桜ヶ丘ミュージアム、刈谷市美術館)の学芸員にお願いしました。



『星野真吾画集』は、黒地に銀文字の装丁で、256頁(カラー図版144頁・掲載作品269点・テキスト100頁)。

『高畑郁子画集』は、赤地に金文字の装丁で、224頁(カラー図版144頁・掲載作品165点・テキスト69頁)。

ハードカバーの画集2冊を一つの箱に入れて“月と太陽の二重奏”としました。

もちろん、物静かな星野が[月]で、にぎやかで明るい高畑が[太陽]です。

二人の集大成ともいえる画集は、3年半を費やし、ようやく高畑郁子の卒寿の誕生日(令和元年11月25日)に完成し、出版することができました。

感無量です!

500部限定で非買…全国の美術館や図書館などに高畑の手によって寄贈されました。ご覧になりたい方は、豊橋や豊川の公立図書館などで見ることができます。是非、ご覧ください。

豊橋市へピアノを寄贈しました。

当財団理事長の藤原俊男より、豊橋市へピアノを寄贈しました。(日本楽器製造株式会社(現ヤマハ株式会社)製アップライトピアノ 昭和11年(1936年)製造 85鍵)

本ピアノは、昭和11年に豊橋市住吉町 鈴木尚氏が購入したものです。家族11人により弾かれ続けてきましたが、ピアノとして機能しなくなった為、平成20年12月に三男藤原俊男(旧姓鈴木・元株式会社河合楽器製作所ピアノ設計)が株式会社河合楽器製作所に依頼し、部品等、原型のまま修復したものです。

豊橋市公会堂3階応接室に設置



文化短信

▼豊橋市民俳句会 第627回句会

下 萌ゆる大地をおこす老の鍬
山 中たけし
下 萌の野辺に連なる土竜
彦坂艶子
今朝の日に透ける一叢野水仙
藤田源一
薄氷や破り難きは己が殻
佐藤英子
撫牛のどかつと臥す宮下萌ゆる
河合澄子
熟成のすすむ味噌桶笛子鳴く
大河美智子
低気圧暴れ令和の冬送る
林 春美

下 萌や返らぬ月日懐かしき
白井みち子
ふらここに揺れの残りて昏れ
中内まつえ
下 萌や山羊は子を連れ河川敷
篠田和代
また一つ下 萌消ゆる造成地
加藤美津子

▼豊橋市民俳句会 第628回句会

拡散のコロナウイルス亀鳴け
彦坂艶子
白鷺の翔たんと春水したら
大河美智子
一杓に水琴窟の春の音
林 春美

ウイルスが侵す三月予定表

土筆野に幼な姉妹の日曜日
佐藤英子
笹舟を浮かべて競ふ春の川
白井みち子
山水舎の龍の口より春の水
山中たけし
春水をことばぐとくせせら
河合澄子
ウイルスの身近に迫る春秋
高橋良子
豊終へてふむ手杓春の水
加藤美津子

▼豊橋番傘川柳会

近頃は落書きでできる壁がない
佐藤文児
心無い落書き並ぶ地下通路
郡山弘子
子供らがのびのび書いた園の
戸沢はたる
落書きを褒めて新芽を掘り起
森 文代
壁の絵も果立った後は懐かし
鈴木恵子
消しゴムで消える落書きなら
波多野律子
許す
落書きも描く人により保存さ
小松くみ子
砂浜の相合傘を呑んだ波
来本芳子
落書きの相合傘にとりもたれ
青嶋由紀美
気位をどこか落書き感じさせ
寺部水川

落書きに足を取られた正義漢
須崎東山
モヤモヤに落書き帳が引き受
彦坂石転
自分史の余白に落書きも混じ
高柳閑雲
逝った児の落書きすらも宝物
鈴木順子

豊橋文化短歌会 日曜歌会

福よ来よ鬼も皆来よ寄りて来
よ明日より春ぞ祝ひ踊れや
横田隆介
それほどの知識なければ水仙
を見ていて夢二の美人画浮か
ぶ
西郷賢谷
佐奈川のみずは囚われ両手
(もつこ)より漏るる水粒み
つぽのそれぞれ自由
宇佐美幸枝
元旦の卓に揃へる祝箸それだ
けで気分新しくなる
岡田米子
鷹ひとつみつけざらねどいら
こ岬風が波追ひ波が風おふ
岡田宏子

水曜歌会

『売り土地』の真中に一本たん
ぽぽは綿毛となりて夕陽を浴
びぬ
岩瀬美子
シベリアの陽!とて薄ら陽の
町行けば裡にはかに広がる
凍土
田辺美和子
キョキュキと鼻歌まじりに

皿あらう夫をながめつ明日は
雨なれ
原田みよ子
冬晴れに襦袢からりと乾きた
る幸を当世の母は知らざり
洲淵智子
六十路より中学二年まで駆け
もどりほほ笑む祖母と時過ご
す夜
長谷川公代

新型コロナウイルスの猛威に
より、三月の歌会は中止
三月の日曜・水曜歌会は急
遽中止になりました。でも、歌
会の詠草依頼葉書が、中止決
定される前に発送されたため、
二名の方の短歌が郵送されま
した。今回だけということでご
の誌上に掲載させて頂きます。

水曜歌会会員からの寄稿
咳ひとつしてもされても気を
使いマスクの口に雨を転がす
篠田武子
蒲公英や土筆の出さうな春の
風 背に感じつつ「ゲンキ」と
歩く
室 澄子

令和二年吟行会を行います。
日時 ●令和二年五月十七日(日)
午前十時
会場 ●豊橋公園内
集合場所 ●三の丸会館

きまぐれ編集後記

ほの国百貨店が先日閉店
しました。最後は笑顔でお別
れしました。社員の方々が
手を振るなか、シャッター
がゆつくり閉まっていきまし
た。子ども頃は親に連れられ
少し誇らしい気持ちで洋服を
買った方、大人になって洋
服を買った方、大人になつて
も何だかんだで洋服を買い
に行き、結婚の際は食器一式
を揃え、子供が生まれれば産
着を買って、毎月クレープを
食べに寄り、北海道物産展に
はわくわくして海鮮丼を買い
に行くと、それが私にとって
のほの国百貨店でした。
正直、大人になり名古屋
や東京へも行くようになり、
ましてインターネットで色々
な物を買うようになってか
らは、それと比較して欲しい
ものが置いてないと言っ
てみたり、「なんか少い」と言
うこともありましたが、でも、そ
んな風に比べることは間違っ
ていて、やっぱりほの国百貨店
は私たちにとって愛すべき百
貨店だったのだと、閉店した
今改めてそう思います。コロ
ナ騒動を含め暗い話題が続き
ます。明るいニュースを自分
自身で作っていかねばと思っ
この頃です。